

国民生活・経済及び地方に関する調査会
「誰もが取り残されず希望が持てる社会の構築」のうち、社会経済、地方の現状と
国民生活における課題
(社会的な困難の現状) について

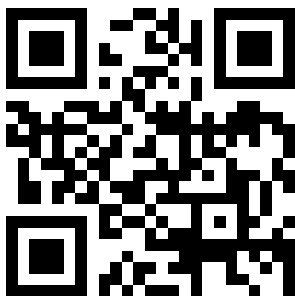
新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響による 子ども・若者・子育て家庭の状況と今後必要な支援について

2023年4月12日
認定NPO法人キッズドア
理事長 渡辺由美子

わたしたちキッズドアは、貧困に苦しむ日本の子どもたちの社会へのドアを開けるべく、多くの大学生・社会人ボランティアと共に、子どもの教育支援に特化した活動を展開しています。

団体概要

認定NPO法人キッズドア
<http://www.kidsdoor.net>



理事長 渡辺由美子 プロフィール

2007年任意団体キッズドアを立ち上げる。
2009年特定非営利活動法人キッズドアを設立。
内閣府子どもの貧困対策有識者会議構成員
内閣府子どもの未来応援国民運動発起人
厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員
全国子どもの貧困・教育支援団体協議会副幹事
著書：子どもの貧困 未来へつなぐためにできること
(水曜社/2018年5月)



04

キッズドア事業

他団体へのノウハウ移転

研修室ではキッズドアが長年培ってきた学習支援事業におけるノウハウを全国の学習支援団体の皆様にオンライン研修にてお伝えしています。また学習支援団体のネットワーク強化と子ども支援の底上げを目的とし、オンライン研修にご参加いただいた団体の皆様には、継続的に情報発信やフォローアップを行っています。



02

キッズドア事業

ファミリーサポート

ファミリーサポートは2020年にコロナという災害に対する、緊急支援という形で発足しました。現在では、困窮子育て家庭の保護者を対象に、困窮から抜け出すための物資・情報・就労支援を行っています。2021年度には延べ19,793名の方へ支援を行いました。今後も家庭への包括的なサポートを行っていきます。

FEATURE
001

2021 キッズドア事業一覧

01

キッズドア事業

学習支援・居場所支援

キッズドアでは2009年より経済的に厳しいご家庭の子どもへの無料の「学習支援」を行ってきました。現在では都内を中心に約60教室で、1,500名を超える生徒へ支援を行っています。昨年度も全ての中学3年生が高校に進学し、約60名の高校生が大学へ進学しました。また、勉強を教えるだけではない「居場所支援」もキッズドアの事業の柱です。学校でも家でもない「第3の居場所」を提供しています。食事の提供やイベント開催、ボランティアとの関わりを通して子どもの成長をサポートしています。

Business list

03

キッズドア事業

児童館運営

キッズドアは江戸川区から委託を受け、児童館「共育プラザ中央」を運営しており、中高生の活動支援、子育て支援、世代間交流を柱とする事業を行っています。地域や学校と連携をし、中高生のための居場所や活躍の場を作り、子育て世代のために親子の交流の場、情報交換の場などを提供しています。



05

キッズドア事業

東北事業

東日本大震災から10年。キッズドアは震災直後から宮城県に事務所を構え、子どもに特化した支援を続けて来ました。長期的な支援の中では、子どもたちの成長を日に日に感じることが出来ます。最近では、「社会人になりました」「結婚・出産をしました」という嬉しい報告も届いています。

大学、専門学校進学者数

59人 

千葉大(医)、日本医科大(医)、広島大、中央大、法政大など

今年から始まったSBCメディカルコースなど、様々な生徒のニーズに合わせた学習支援をキッズドアは行っています。今後も難関大学に限らず、生徒の志望校に合わせたきめ細かいサポートを全国の高校生に行っていきます。

高校進学者数

252人 

今年も経済的に厳しいご家庭の中学3年生をボランティアを中心にサポートし続けました。生徒一人ひとりに寄り添った支援で今年も252名の中学3年生が高校へと進学しました。
※キッズドアで高校進学指導を受けた252名の中学3年生が対象

私立高校進学者

89人 
公立高校進学者
163人



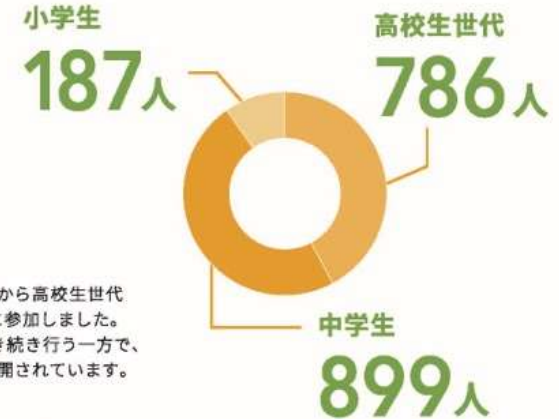
ファミリーサポート物資&情報&就労支援対象者数

19,793人

昨年度からスタートした「ファミリーサポート」では全国のご家庭を対象に食料や進学情報の提供に加えて、就労支援を行いました。支援した人数は延べ19,793名に上りました。


生徒数合計
1,872人

長引くコロナ禍の中でも、今年も小学生から高校生世代まで多くの生徒がキッズドアの学習会に参加しました。対面の他、オンラインでの学習支援を引き続き行おう一方で、体験活動や夕食の提供などが少しずつ再開されています。



ボランティア人数

925人 

大学生から社会人、年配の方まで今年も多くのボランティアが生徒のロールモデルとして活躍しました。オンラインでの支援も定着し、今年は海外からオンラインで参加されるボランティアもいました。

数字でわかる 2021キッズドア

FEATURE
003

2021年度も多くの方に支えられ、キッズドアは活動を行うことができました。そんな2021年度のキッズドアの活動・成果の中でも特に印象的なものを数値化して表しています。

メディア掲載数
149回 


今年も新聞、ラジオ、雑誌、テレビなど多くのメディアにキッズドアの活動を紹介していただきました。コロナ禍でさらに厳しくなった生徒や保護者の現状をこれからも伝えていきます。

拠点数
64箇所 

東京だけではなく、千葉や埼玉、東北で学習会が開催されています。勉強を学ぶ場だけではなく生徒の第3の居場所としても開かれています。

年間学習会開催回数

4,914回 

少しでも多くの生徒に参加してほしい。そんな思いでキッズドアの学習会は開催されています。今年もオンラインも含め日本全国から多くの生徒が学習会に参加し、成長をしています。

ご協力いただいた 企業や団体

223社・団体 

今年も多くの皆様のご協力により、キッズドアは子どもへの支援を行うことができました。寄付だけではなく、プロボノや物資提供などのご支援が生徒の笑顔を支えています。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響や経済格差の拡大で、今、 日本の子ども・若者・子育て家庭が希望を持ってない状況です

● 不登校が急増

小・中学校における長期欠席者数 413,750人（前年度287,747人）

—うち、不登校児童生徒数 **244,940人**（前年度196,127人 **+24.8%**）

—在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合 **2.6%**（前年度2.0%）

高等学校における長期欠席者数 118,232人（前年度80,527人）

—うち、不登校生徒数 **50,985人**（前年度43,051人 **+18.4%**）

—在籍生徒に占める不登校生徒の割合 1.7%（前年度1.4%）

高等学校における中途退学者数 38,928人（前年度34,965人 **+11.3%**）

在籍生徒数に対する中途退学者の割合 1.2%（前年度1.1%）

● 子どもの自殺過去最高・特に高校生の自殺が増加

昨年に自殺した小中高校の児童・生徒は512人で、過去最多だったことが28日、文部科学省のまとめで分かった。これまでは2020年の499人が最多だった。厚生労働省などの統計（暫定値）から集計した。

内訳は、小学生17人、中学生143人、高校生（全日制）259人、高校生（定時制・通信制）89人、高校生（特別支援学級）6人、大学生（学部）380人、大学生（夜間学部）4人、大学生（その他・不詳）54人、予備校生10人、専修学校等101人。

● 困窮家庭の高校生は経済的理由で将来を諦めている

キッズドアが支援する困窮子育て家庭へのアンケートでは「**経済的理由で志望校を諦めた**」 **19%**

● 経済的困窮の影響が準貧困層にも拡大。一方、困窮支援は相対的貧困層のみに集中し、**準貧困層に諦めや不安が広がっている**

● コロナの影響で、**体験格差やデジタル格差という新たな格差**が急速に拡大

2023-2030「アフターコロナ 子ども・若者リカバリープラン」

将来へ負の遺産を残さないために 子ども・若者への支援を集中強化を！

子どもの支援は福祉ではなく投資。早めの支援で早期回復と将来へのリターンを

1. コロナや物価高騰の影響は、困窮家庭ほど長引きます。子育て家庭への支援の強化を

「物価高の中、企業等では賃上げが盛んに行われておりますが、私の母はコロナ渦で仕事を失職し、うつ病になりました。家計は大変苦しく、4月からは私は高校3年生になり、下の弟たちも高1、中2、中1…と入学を控えています。どうか、私たちを早急に助けて下さい！よろしくお願い致します！」

2. 貧困層のみならず、準貧困層へ様々な支援を拡充

子育て世帯の所得は2極化。相対的貧困層のみの支援では、準貧困層が下に落ちてしまう状況。分厚い中間層の復活には準貧困層の支援を

3. 人生の分かれ目になる高校生の支援が重要

高校生の不登校支援、高校中退予防、進路相談や受験支援の大幅増。高等教育修学支援新制度（給付型奨学金と学費の減免）
 → 望む進路に進み、自立することが少子化対策としても重要

4. 今後必要なのは学習支援や体験活動

子ども食堂→居場所→**学習支援**（内閣府調査：子どもが最も利用したいのは「無料で勉強を見てくれる場所」）

子どもが夢や希望をつなぎ、将来を諦めないためには、無償で利用できる体験活動や学習支援が重要

5. オンラインを活用し公的支援を広域で受けられる仕組みの構築

キッズドアではオンラインによる高校生の学習支援・キャリア教育を実施し、大きな成果に！
 モデル事業の実施と迅速な拡充を

6. 不登校の子どもへの学びの支援を早急に、十分に

有償のフリースクールや塾に通えない、親が教えることができない子どもの学力保証を（支援が遅れば、ひきこもりや低収入になるリスクが大）

（高校生）不登校だったからキッズドアの学習会や体験会などは、とても楽しく人と触れ合う貴重な時間だった

7. 困窮家庭から、大学・短大・専門学校に進学した若者への支援を

学内での相談機能の強化や、現在はほとんどない、民間の相談機関、支援機関のサービスが必要。
 「前期は払っても後期の資金を調達できるか心配です。」一家庭に頼れない若者の相談先がない。

- 1. コロナや物価高騰の影響は、困窮家庭ほど長引きます。
子育て家庭への支援の強化を**

【キッズドア調査室】2022年物価高騰の影響把握のための緊急アンケート

- 対象：キッズドアが支援する困窮子育て家庭の保護者
(キッズドア ファミリーサポート登録者*)
- 期間：2022年11月11日～11月16日
- 回答数：1,846件

*ファミリーサポートについて

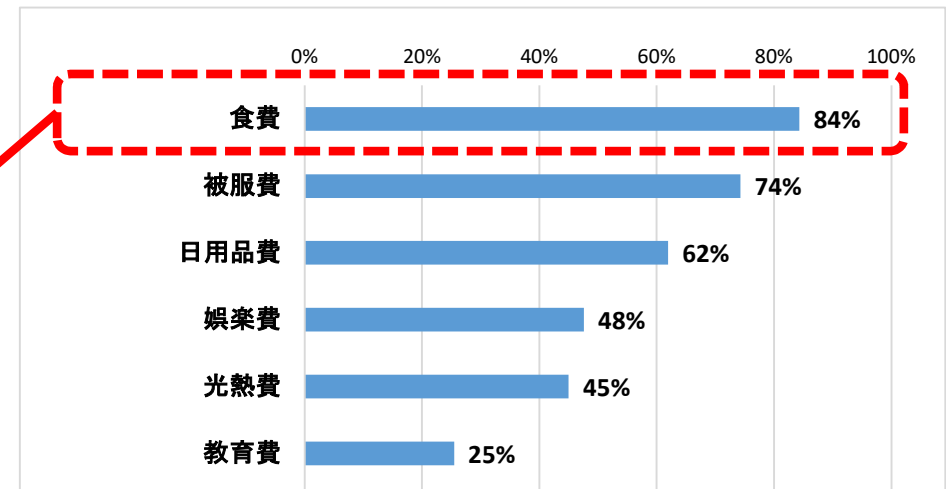
キッズドアによる困窮子育て家庭の支援。日本全国の、生活が困窮する高校生までの子どもを持つ世帯（下記①～④を満たす）に対して、困窮から抜け出すための物資・情報・就労支援を実施。

- ①生活に困難を抱えている方
- ②0歳から18歳（高校3年生）までの子どもがいる方
- ③日本にお住まいの方
- ④住民税非課税／児童扶養手当／就学時援助／生活保護／多子世帯でお困りの方・実質ひとり親の方など

困窮子育て家庭は 長引くコロナと物価高騰で追い詰められています

- ・ **70%**の子どもが、必要な栄養が足りていない
- ・ **28%**が風邪などの病気になりやすくなった
- ・ **25%**が身長や体重が増えていない
- ・ **24%**が、元気がなくなった
- ・ **24%**が、落ち着かなくなった
- ・ 親は、1日1食が17%、2食が47%

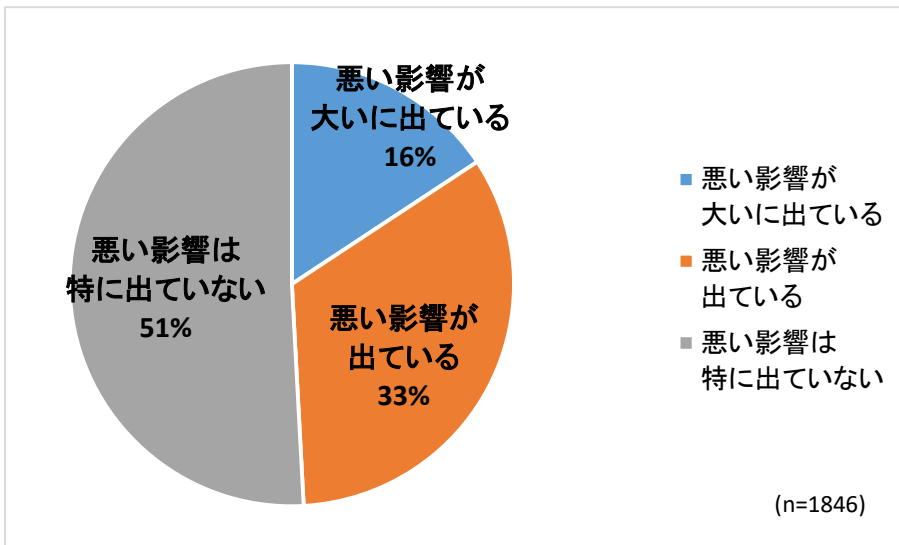
■家計維持のために出費を減らしている項目



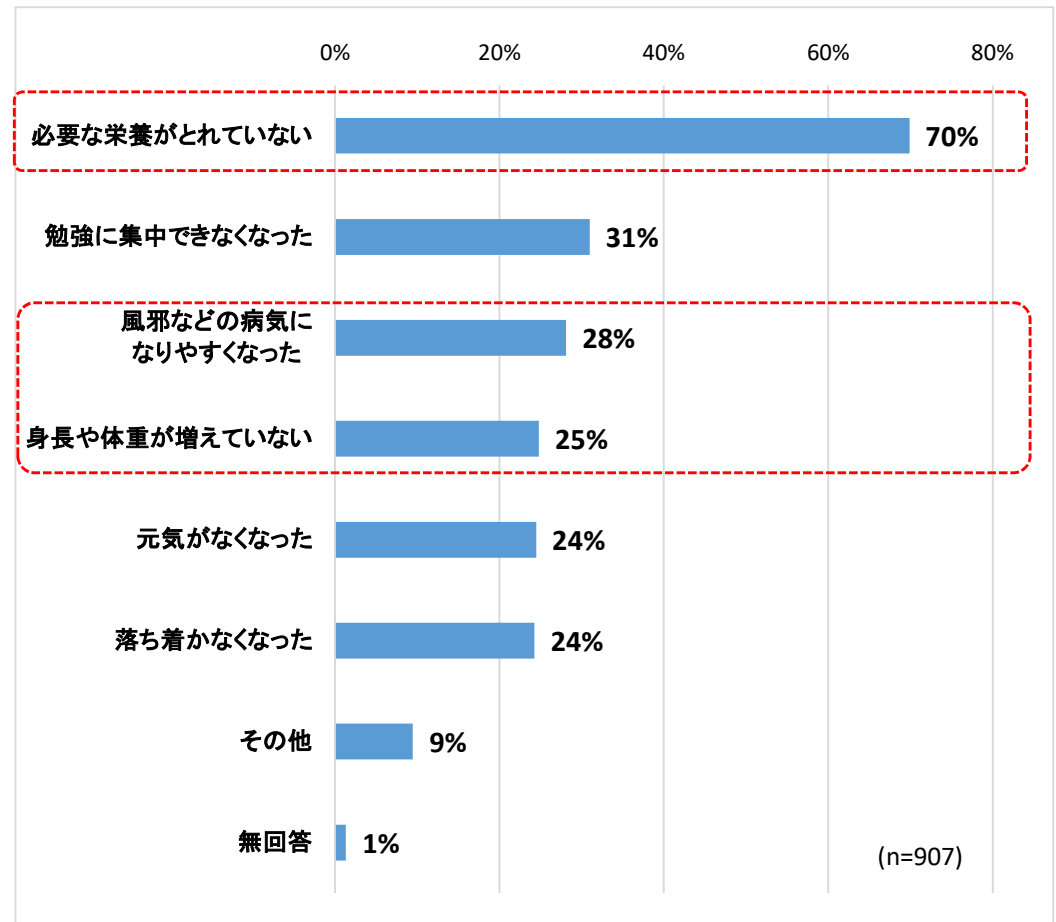
栄養が足りていなくても
食費を減らさなければなら
ない状況

- **子どもの成長にすでに悪い影響が出ているとの回答が約半数。**
- 具体的には、「必要な栄養がとれていない」が最多。風邪などになりやすい、身長や体重が増えていない等の健康面で問題が出始めていることを示す回答も。

子どもの心身の成長への悪影響の有無

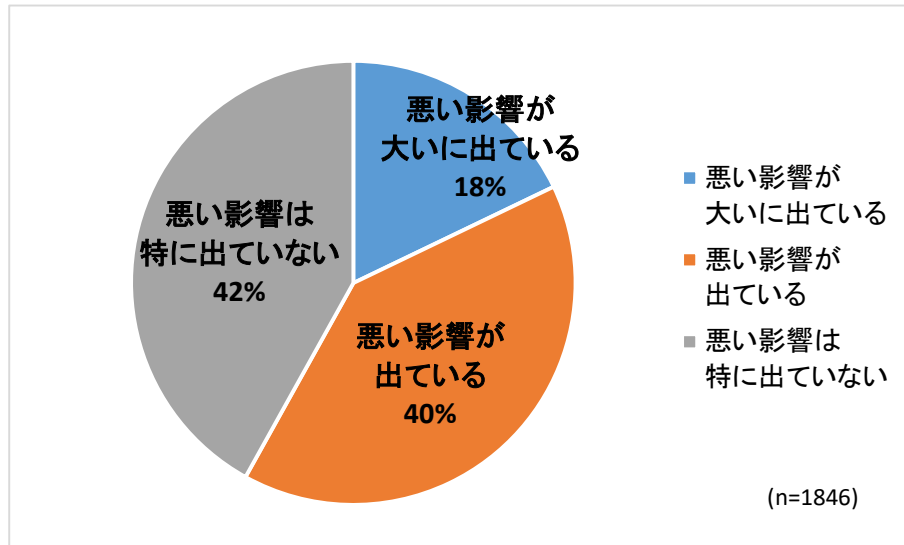


悪影響の具体的内容

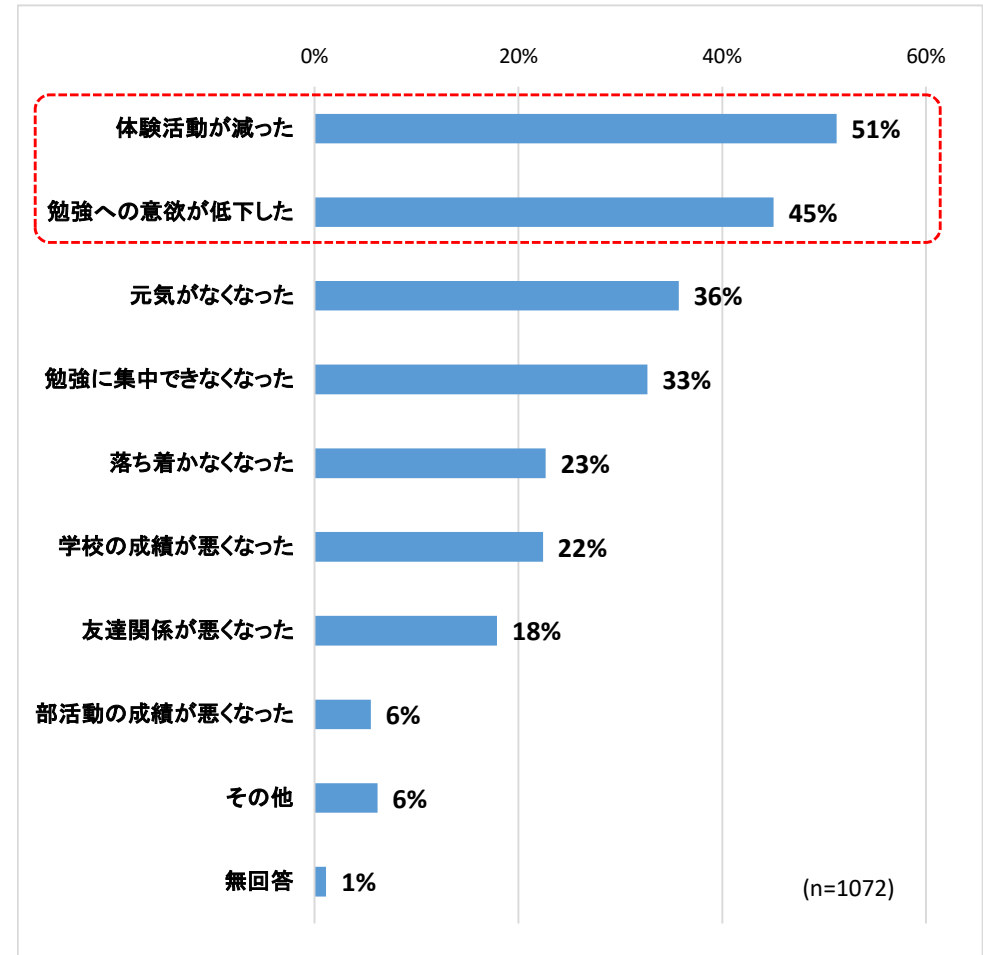


- 子どもの学びや生活にすでに悪い影響が出ているとの回答が6割に迫る。
- 具体的な内容としては「体験活動が減った」が最多。「勉強への意欲が低下した」も45%。

子どもの学びや生活への悪影響の有無



悪影響の具体的内容



保護者の声

- コロナの影響で既に苦しい経済状況だったのに追い打ちをかけるような物価の上昇で支払いの督促などにも悩まされて経済的負担に加え精神的にもギリギリに追い詰められている。子どもたちも無気力になっている。5年後、10年後を考えるのが怖い。
- コロナの影響は続いており一向に改善されていません。物価高等で買える物も限られ食べる物がなく見切り品で凌いでいます。夜 子供が寝た後はスマホの明かりで家事をこなし窓には段ボールを立て寒さを凌いでいます。国民の底辺の生活を知って下さい。

子ども（高校生）の声

- 物価高の中、企業等では賃上げが盛んに行われておりますが、私の母はコロナ渦で仕事を失職し、うつ病になりました。家計は大変苦しく、4月からは私は高校3年生になり、下の弟たちも高1、中2、中1…と入学を控えています。どうか、私たちを早急に助けて下さい！よろしくお願い致します！
- 母が飲食店関係の仕事をしているので、コロナが始まってからずっと影響を受けている。キッズドアから毎回支援を受けていること知っている所以感謝しています。いつもお金がないと聞くので、たまにお腹がすいても大丈夫と言ってしまふ。自分は定時制に転入したので距離も遠くなり母に送迎を頼んでいるのでそういう面では申し訳なく思う。学習や生活はコロナが始まってから益々厳しいという実感はあるけど、どうにもならないんじゃないかなと思ってしまふ。それでも高校卒業の資格は欲しいので、あと一年頑張っで卒業しようと思っている。

2. 貧困層のみならず、準貧困層へ様々な支援を拡充

子育てや教育にお金がかかりすぎるため、すでに子どもを持つ世帯が、比較的所得の高い層と、それ以外の層に2極化している。

コロナの影響や物価高騰で、準貧困層の子どもたちへの支援が必要

令和3年 子供の生活状況調査の分析報告書令和3年12月 内閣府政策統括官（政策調整担当）

調査の概要

- 本報告書では、保護者・子供の生活状況について、全国的な実態を把握するとともに、「等価世帯収入」の水準と「親の婚姻状況」別に比較分析を行った。分析の結果、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、子供の学習・生活・心理など様々な面が影響を受けていた。
- 特に「等価世帯収入が中央値の2分の1未満」でもっとも収入が低い水準の世帯や、ひとり親世帯が、親子ともに多くの困難に直面している。ただし、「等価世帯収入が中央値の2分の1以上だが中央値未満」の、いわば収入が中低位の水準の世帯でも、多様な課題が生じていた。
- 収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活状況がさらに厳しくなっている可能性がある。

子育て家庭の収入は二極化

(1) 世帯全体の年間収入

保護者票問18. 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(SA)

2019年の世帯全員のおおよその年間収入(税込)については、「1000万円以上」が15.3%で最も割合が高く²、次いで、「500～600万円未満」が12.2%、「700万～800万円」が11.2%、「600～700万円」が10.5%となっている。

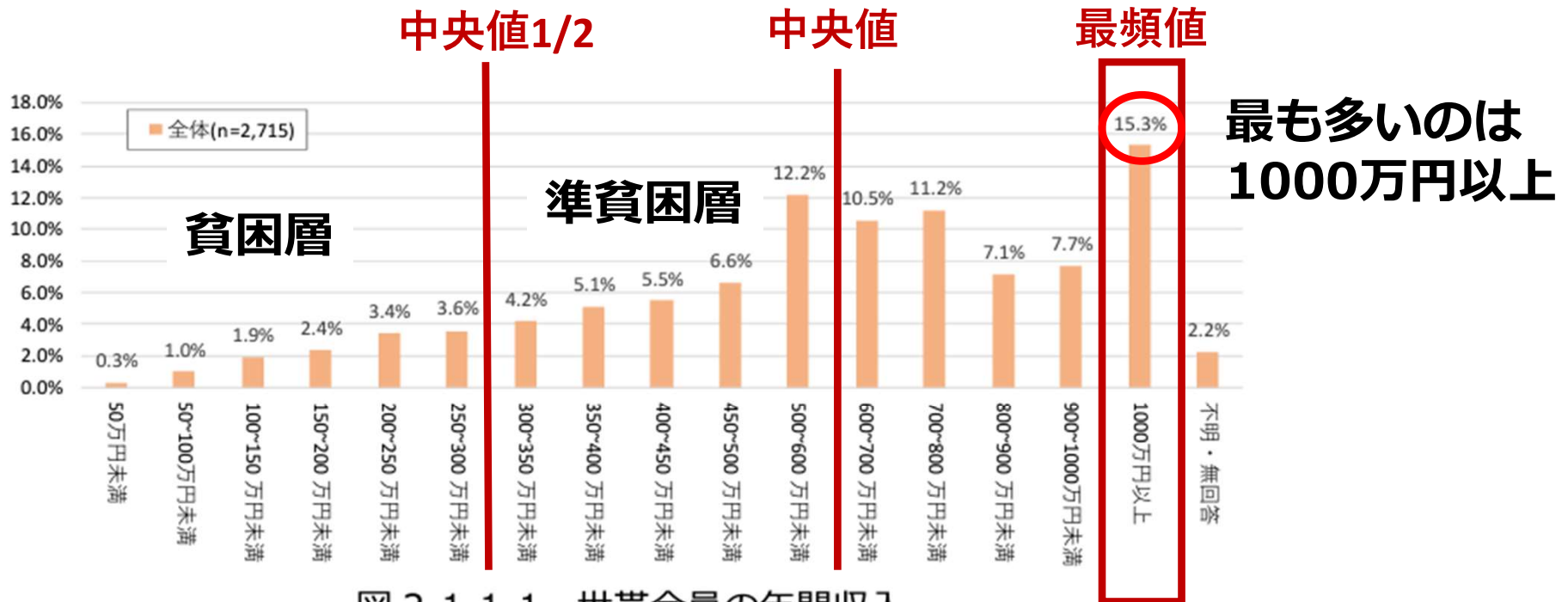


図 2-1-1-1 世帯全員の年間収入

令和3年子供の生活状況調査の分析報告書

<参考> 児童のいる世帯の**2020年の平均所得金額は813万5000円。中央値722万円。**

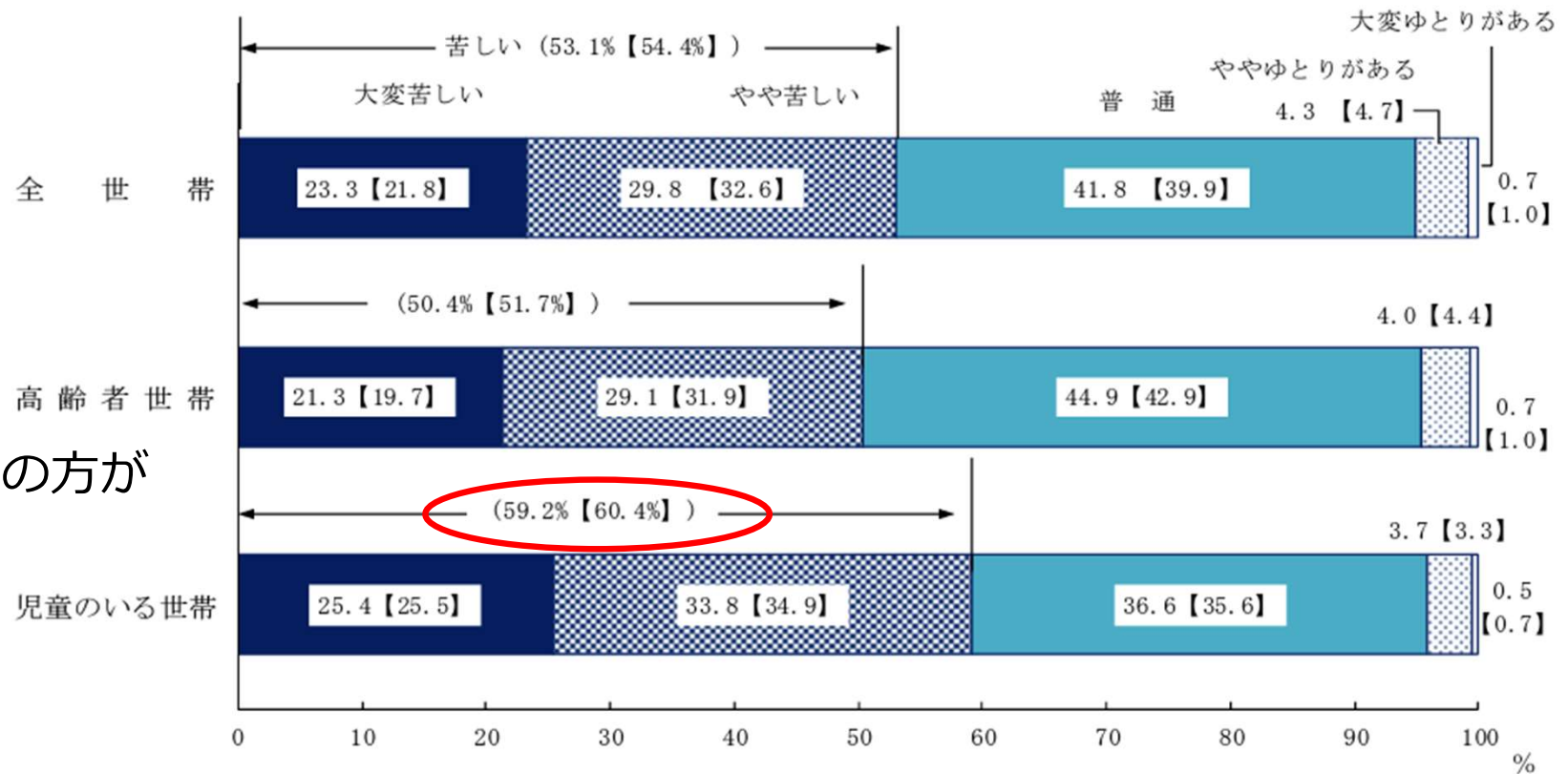
児童のいる世帯は「生活が苦しい」

各種世帯の生活意識をみると、「苦しい」の割合は、「高齢者世帯」が50.4%、「児童のいる世帯」が59.2%となっている（図13）。

図13 各種世帯の生活意識

2021（令和3）年

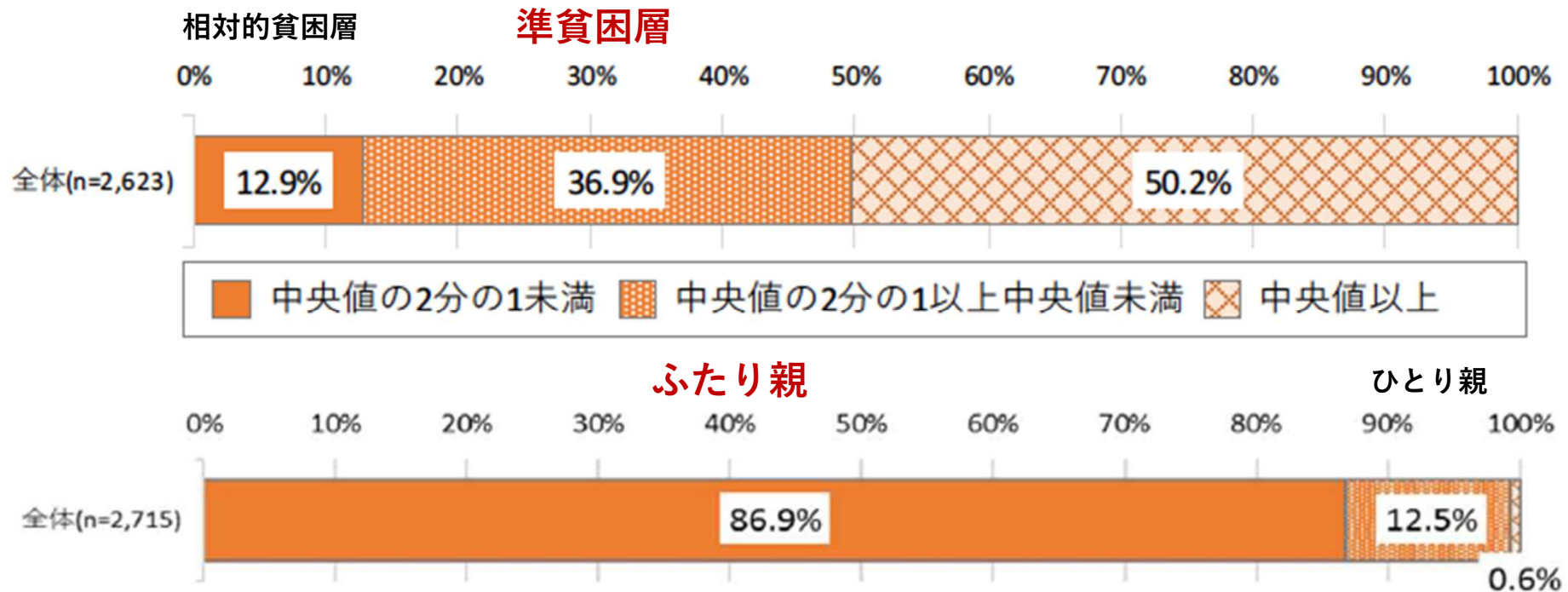
高齢者よりも
児童のいる世帯の方が
生活が苦しい



ボリュームが多い準貧困層ふたり親への支援が必要

■ 困窮子育て家庭への支援は、貧困層やひとり親に集中しがちで準貧困層やふたり親への支援はほとんどない

「多子世帯では、子供の教育費が家計に重くのしかかっています。非課税世帯も大変だと思いますが、非課税世帯ギリギリの多子世帯中間層世帯は、苦勞しています。生活することで精一杯で、貯金する余裕もありません。子供達と旅行にもいきません。ダブルワークで頑張っていますが、働いても働いても余裕がありません。何か対策をお願いしたいです。助けてほしいです。」



準貧困層も生活が苦しい（未払い経験）

■ 準貧困層の7%は公共料金の未払い経験有り。中央値以上は0.9%

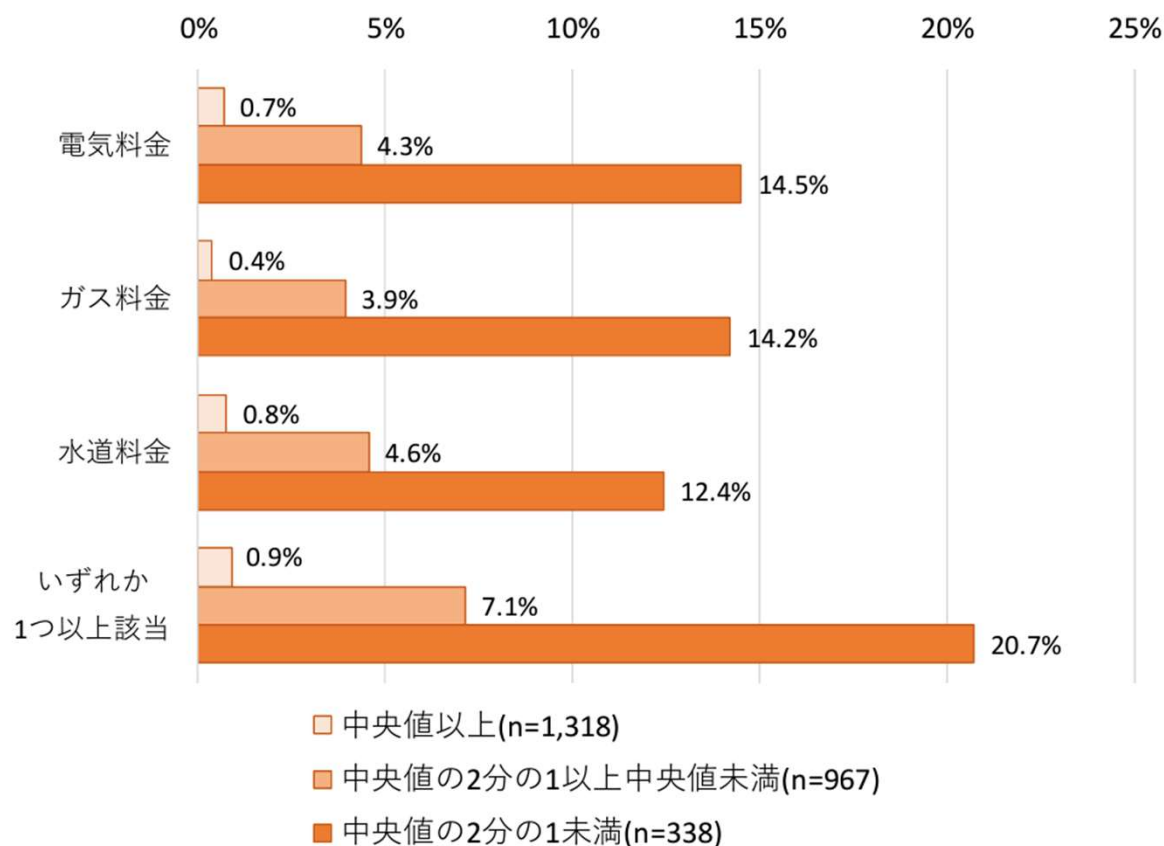


図 2-1-1-18 等価世帯収入の水準別、公共料金における未払いの経験

準貧困層は大学進学希望が激減

■中学生：「進学したい教育段階」 **中位以上は大学またはそれ以上が64.3%。準貧困層は38.1%**

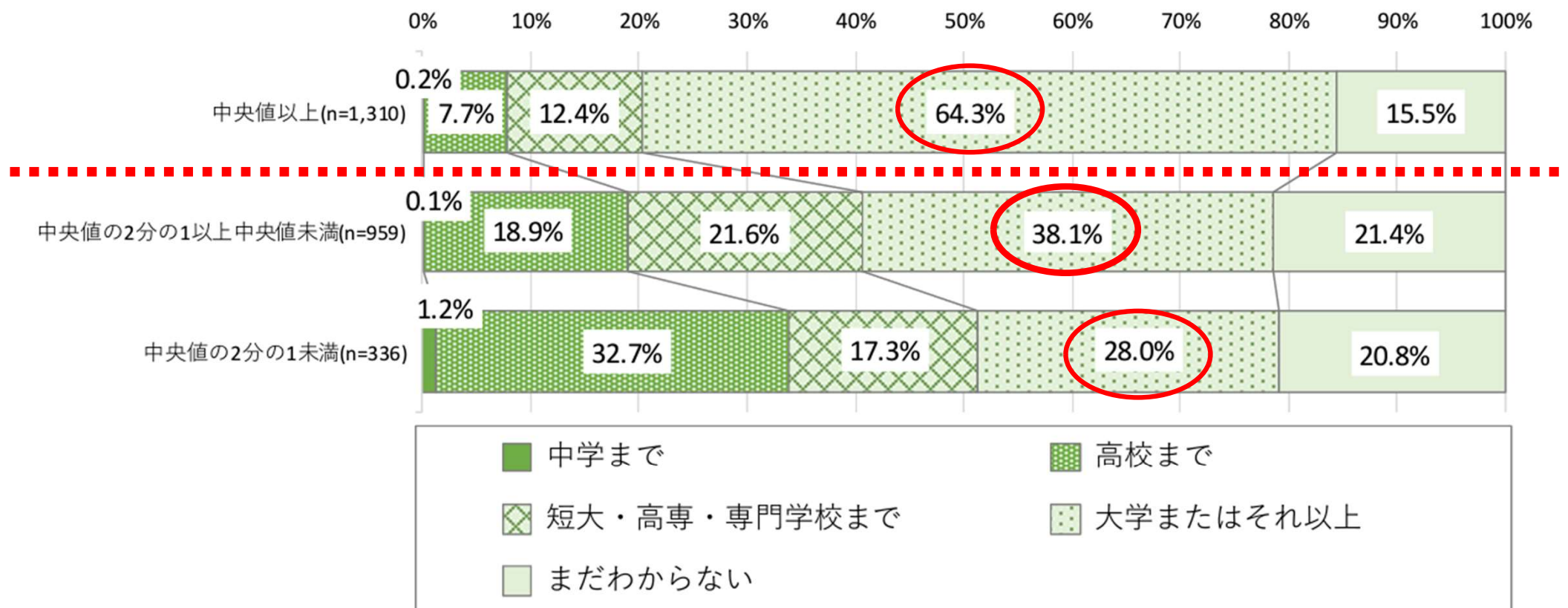


図 2-2-2-2 等価世帯収入の水準別、進学したいと思う教育段階

家庭の経済的理由で大学進学を諦めている

■保護者：進学段階について「高校まで」と考える理由
準貧困層の3分の1（32.2%）が「家庭の経済的な状況から」と回答

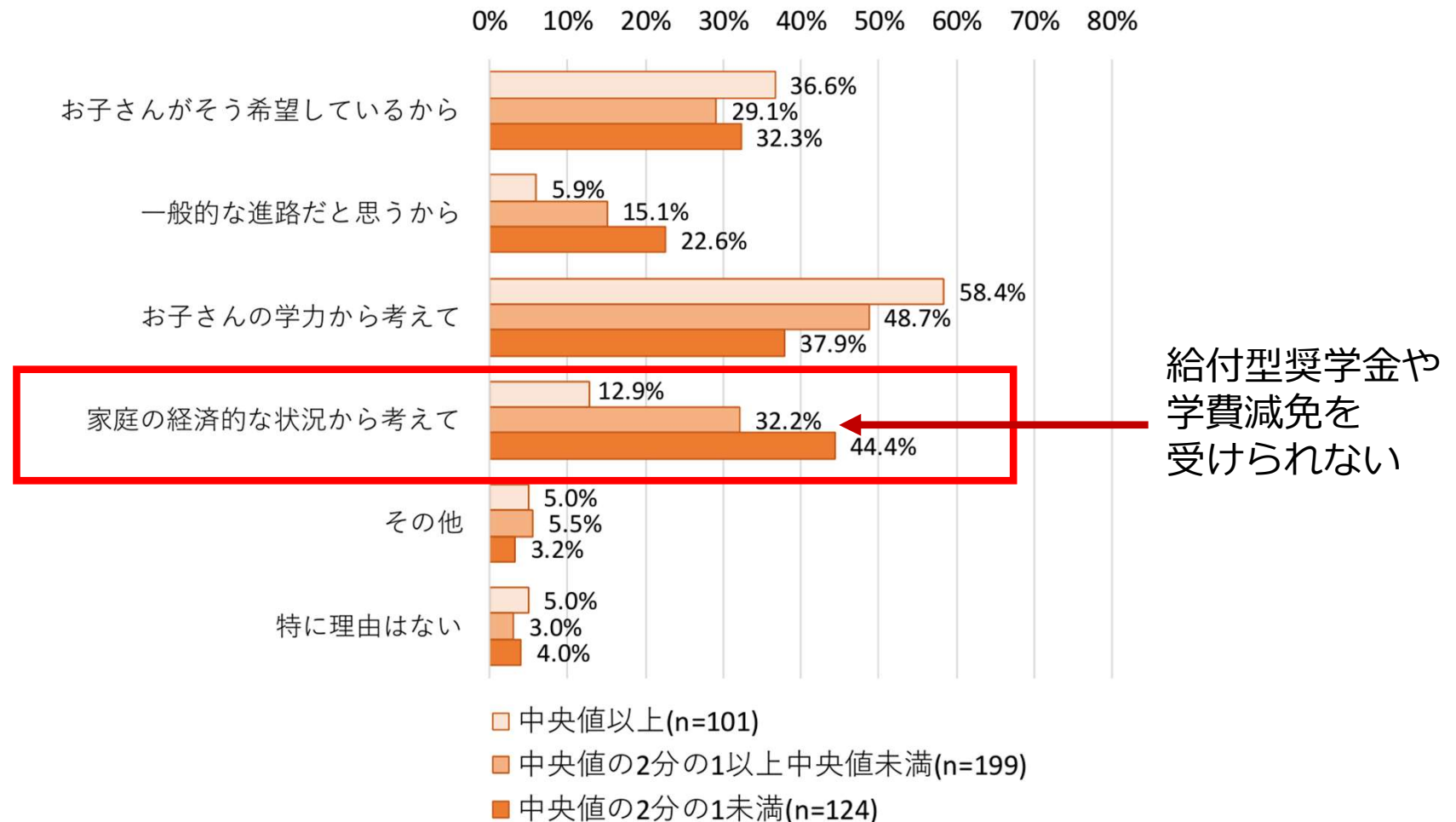


図 2-1-6-6 等価世帯収入の水準別、進学段階に関する希望・展望について「高校まで」と考える理由
令和3年子供の生活状況調査の分析報告書

準貧困層は支援制度を受けられない

■ 準貧困層は修学援助や児童扶養手当などの経済的支援は受けていない

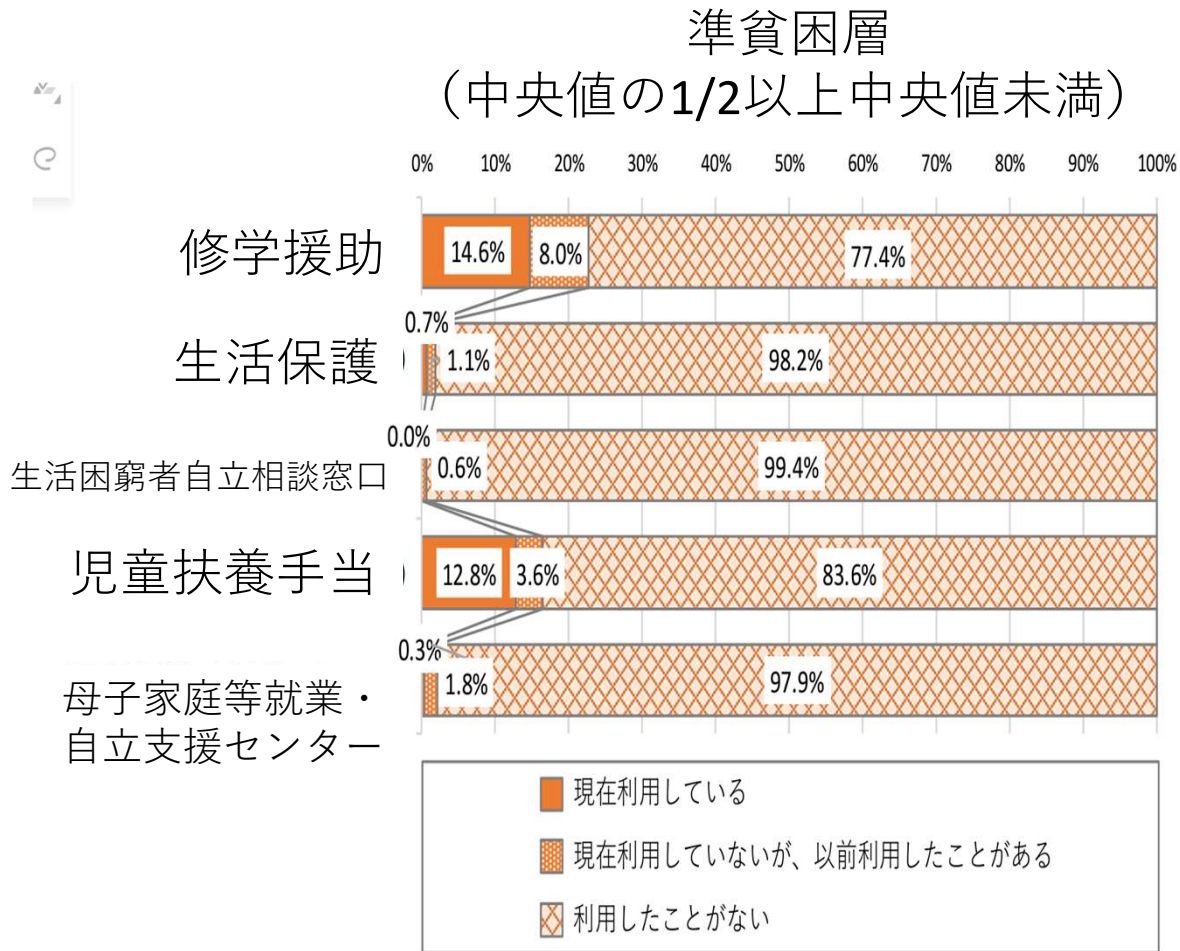


図2-4-1-2 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況

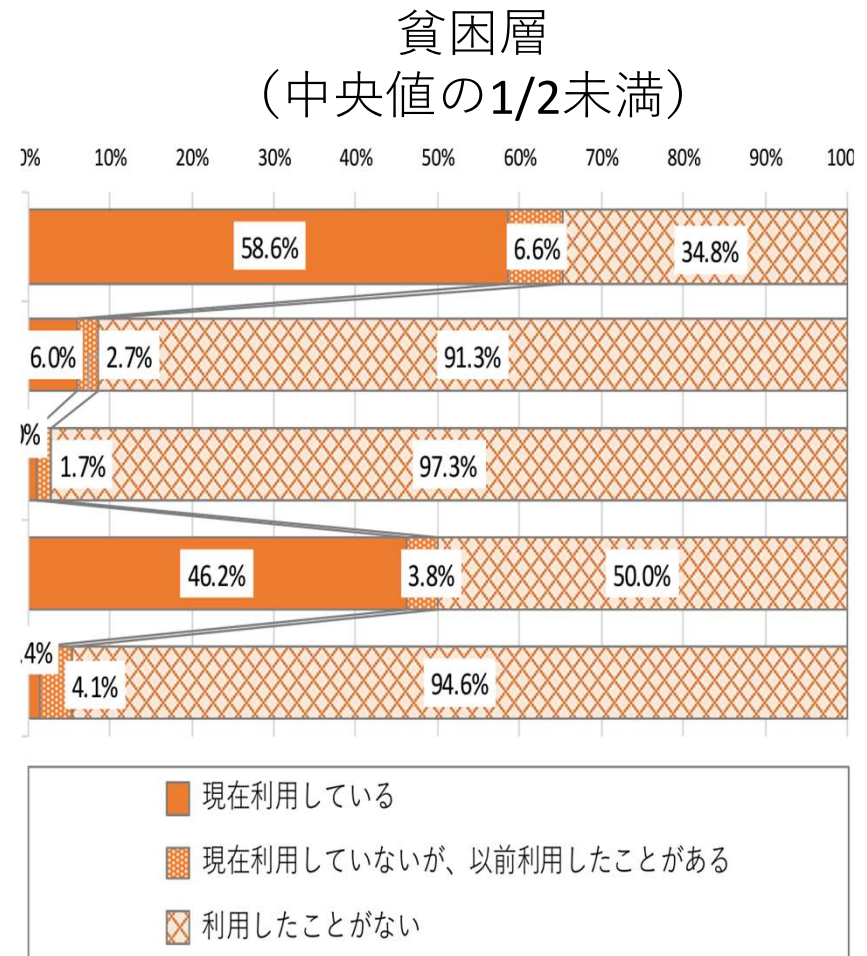
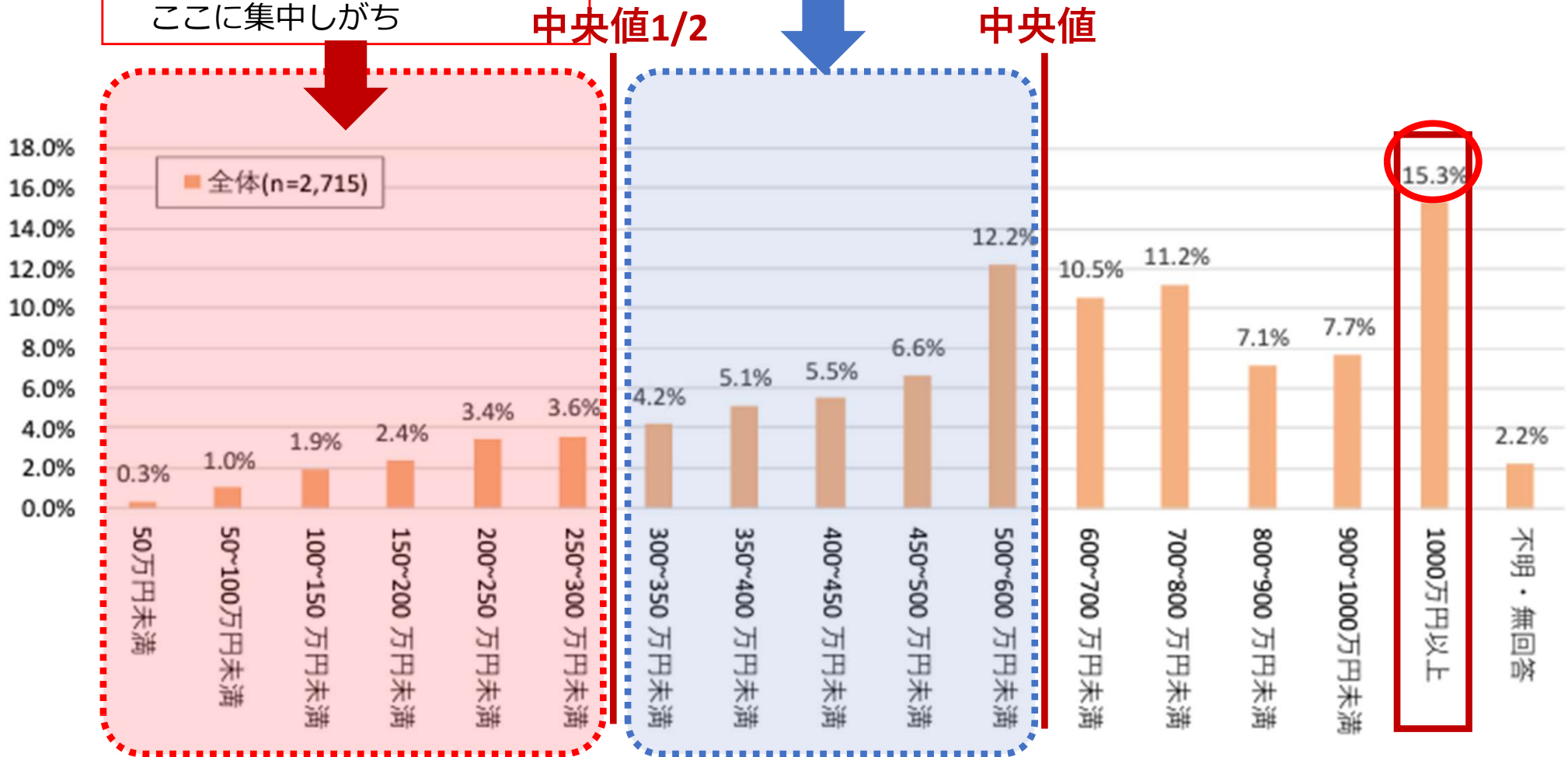


図2-4-1-3 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況

困窮子育て家庭への現金給付
給付型奨学金+学費減免
修学援助、児童扶養手当
行政による無料学習支援
* 民間の給付金や困窮家庭支援も
ここに集中しがち

苦しいけれどほとんど
支援が受けられない
様々な不利で将来を
あきらはじめている

分厚い中間層の復活には
準貧困層への支援が必須
重要なのは**教育支援**



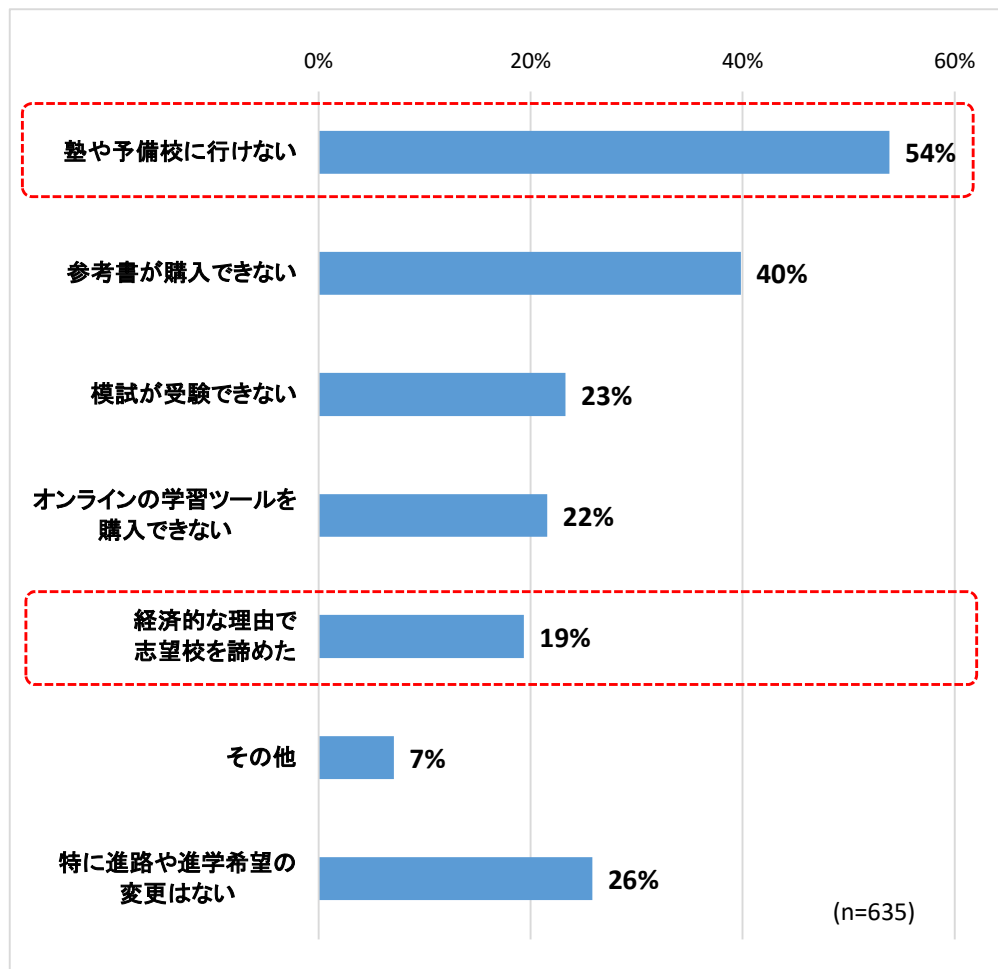
分厚い中間層の復活には準貧困層への支援が必須。重要なのは**教育支援**

「お兄ちゃんは県内トップの高校にいて東大を目指していた人だったけど、一浪して大学に行かずに就職しました。お兄ちゃんがキッズドアを知っていたらもっと違う道があっただろうと感じます。」

3. 人生の分かれ目になる高校生の支援が重要

- 「塾や予備校に行けない」との回答が半数超。
- 「経済的な理由で志望校を諦めた」との回答も約2割。

高校生の進学・進路への影響



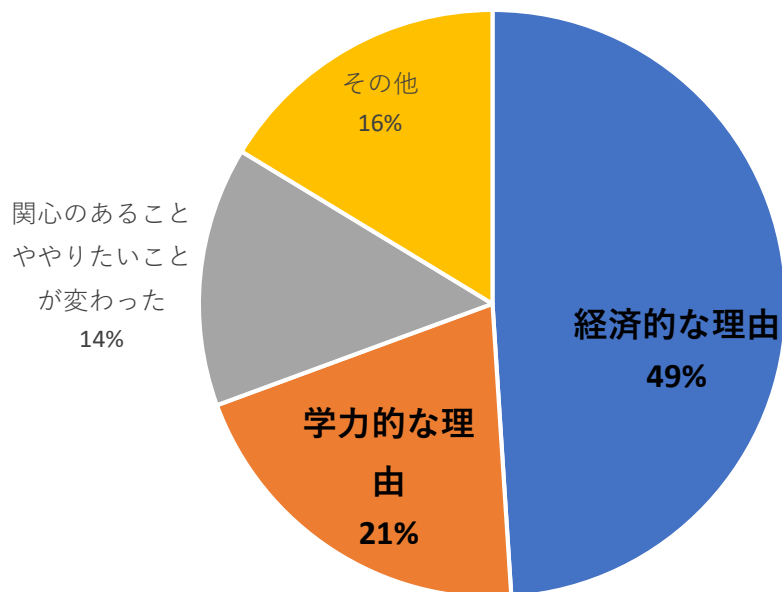
【自由記述から一部抜粋】

- 進学志望だったが、「就職に変更し家にお給料入れるね」と言っていた。
- 物価高騰で出費が増えたので貯金ができず、進学を諦め就職にきりかえた。まだ下に2人兄弟もいるので。
- 子どもがやりたい学びについてますます話さなくなった。(中略) 物価上昇や年金や円の下落で貯金が目減りするのをニュースで知るので母子家庭の状況に絶望するらしい。
- 入学後に奨学金が振り込まれるため、お金のない我が家は、入学前に学費を準備できなかった。諦めてもらうしかなかった。

【キッズドア調査室】キッズドア 高校生世代アンケート（速報）

- 対象：キッズドアの学習支援を受けている高校生やファミリーサポートを利用している家庭の高校生など
- 期間：2023年3月17日～4月6日
- 回答数：349件

受験校・学部や進学/就職を変更した理由(n=98)



- 入学前にかかるお金も用意する事が厳しく、入学後も多額の金額が必要になるので
- 下に弟、妹2人いる為経済的に大変になるから諦めた
- 一般入試を乗り越えるだけの財力がなかった
- お金のなるべく掛からない大学を選びました
- 自宅通学しか出来ないと言われた
- 学費が払えない。奨学金だけではとても間に合わないため
- 奨学金を借りて進学しようかと思いましたが多額の借金をかかえるのが怖くて断念しました。
- 私立の理系大学の授業料が高すぎる、1年目入学金含め188万とかでした。

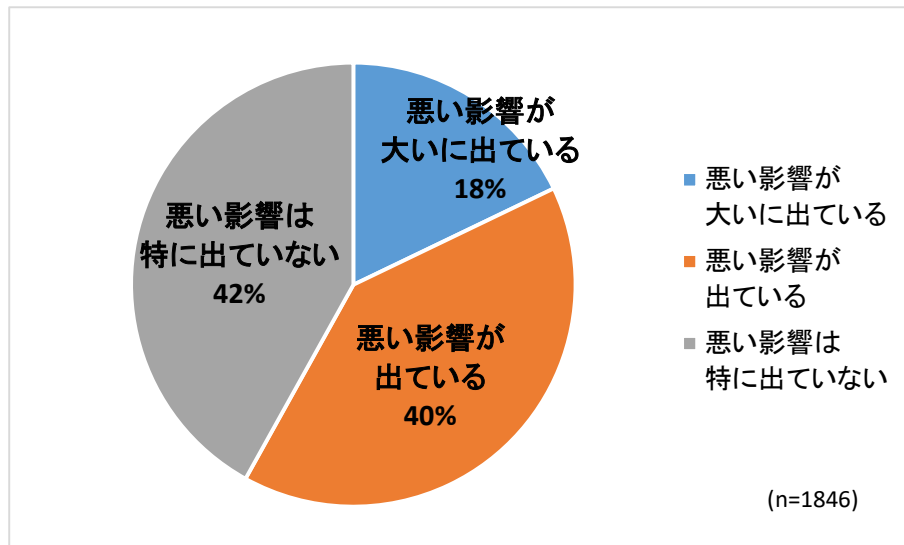
学習・生活の困りごと（自由記述）

- とにかく学費を捻出するために、かなり苦しい生活をしなければいけない状況です。
- 母子家庭でかつ母がうつ病になり収入が激減したにも関わらず、高校生の子供の支援がない。
- お金がかかることはしたくないので、高校に入ってから友達と遊ぶのも避けたいので友達自体作ってない
- お金がないので友達と出かけることも出来ない
- お金がかかる部活は入らない。バドミントン部に入りたかったが、ラケット等買わなければいけない物が多いので、買う物が少ない陸上部にした。パソコンがないので、タイピングの練習が家で出来ない
- 学校の先生の授業がわからず、塾に行かないと理解できないが行けない。友達と休日や学校帰りの外食ができない。参加しても自分だけ我慢している。
- 大学進学するお金が必要だったため修学旅行は行かなかった
- お金がなくてやりたいことができない。進路も大学進学を諦め高卒で就職してになる
- 分からない問題がそのままになり、悪い連鎖があった。参考書や塾に通いたいと伝えたいが、家計圧迫の為に伝えることが出来なかった。
- バイトがあり勉強ができない、塾に通いたいです

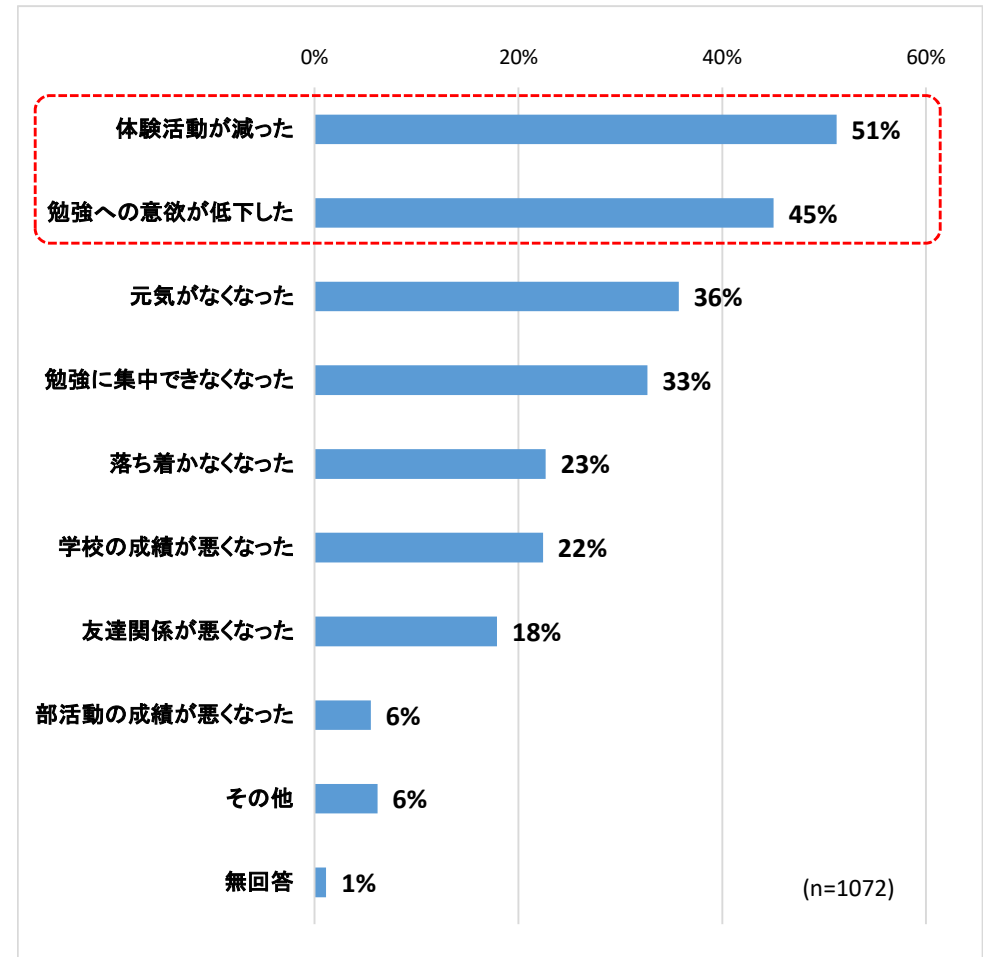
4. 今後必要なのは学習支援や体験活動

- 子どもの学びや生活にすでに悪い影響が出ているとの回答が6割に迫る。
- 具体的な内容としては「体験活動が減った」が最多。「勉強への意欲が低下した」も45%。

子どもの学びや生活への悪影響の有無

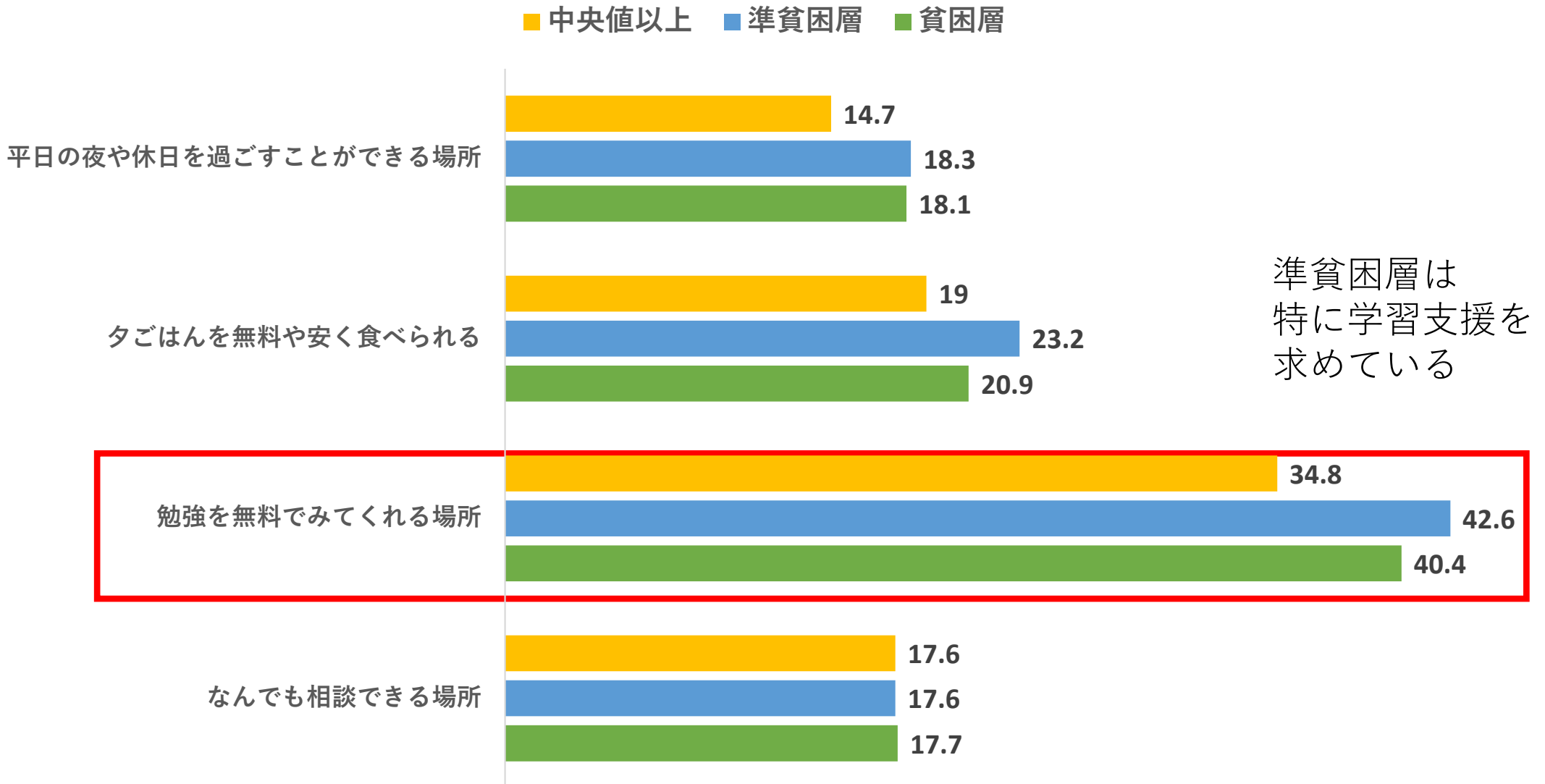


悪影響の具体的な内容



子どもが利用したいのは「勉強を無料で見てくれる場所」

子どもの状況（利用したことはない、あれば利用したいと思う） キッズドア作成



キッズドア 高校生世代アンケート（速報）－自由記述より

■学習支援について

- 食料支援は家族みんなで喜び、助かりました。学習会は近場にないのでいけませんが、もっとたくさん学べる場所ができるといいなと思ってます
- 現在メディカルコースを受講しています。経済的に予備校に通えないのでとても助かります。オンラインで受講していますが、月1回の面談や隔月の生徒同士の交流で1人ではないことを実感出来、情報交換が出来て良いと思います。
- 思春期は自分でも自分が分からなくなって常に不安定な時期だから、家以外に信頼できて頼れる場所があるのは本当にありがたい存在だと思った。沢山の学び場や人との縁、情報や補助があつて助かった。不登校の妹も学習会に参加していて、家では勉強しないけどキッズドアでは勉強していたから本人にとって良かったと思う。キッズドアと繋がっていなかったら勉強してなかったと思う。本当にありがたい。
- 塾に通えない私のような学生にとって学習会という存在はとても有り難い存在です。これからもよろしくおねがいします。

■学習・生活の困りごと

- 経済的に苦しく塾に行けないので、行ってみたいです。
- 検定を受ける際の教科書等が高くて買えない。部活用品が買えない。
- 高校時代に塾や予備校に通って、国公立大学を目指したかった。国際系の学部を選択肢に入れたかった。(学費が高く、諦めざるを得なかったので)

5. オンラインを活用し公的支援を広域で 受けられる仕組みの構築

ギガスクールなどで、オンライン学習の基盤は整いつつある。区市町村や都道府県をまたぐような広域の学習支援の公的な仕組みを早急に整えることで、学習支援が実施されていない地域や、実施の難易度が高い高校生世代向けの学習支援などが可能。キッズドアではオンラインによる高校生の学習支援・キャリア教育を実施し、大きな成果を出しているが、現在は企業や民間財団の助成金などで安定運営や拡大が難しい。

■ 2022年度キッズドアオンライン学習支援実績

	都道府県	所在地	拠点数	対象	母数		年間実施回数	対象
キッズドア学園SBCメディカルコースオンライン	東京都	全国	1	高校生	60		255	経済的事情のある高校生等
キッズドア学園高等部オンライン	東京都	全国	1	高校生	24		85	経済的事情のある高校生等
EnglishDriveオンライン	東京都	全国	6	中3～高校生	143		240	経済的事情のある中3～高3
みらい塾オンライン	東京都	中野区	1	中学生	9		27	経済的事情のある中3生
		拠点数計	9	受講人数計	236	実施回数計	607	

2023年度困窮家庭の高校生向けオンライン学習会説明会には定員70名に対して170名以上の応募

2023年度 新規募集いよいよスタート!

日本国内どこからでも参加できます!

キッズドア学園高等部オンライン
オンライン説明会

日時：①3月31日(金)19:00～20:00
②4月8日(土)19:00～20:00

対象：新高1～3年生の生徒および保護者の方
内容：大学入試の概要、プログラムの詳細、利用生徒の感想、質疑応答など
お申込：右記QRコード



緊急クラウドファンディングを実施

緊急支援

「キッズドアを知らなかった兄は、大学へ行かず就職しました」
困窮する高校生の未来を失わないために
一人でも多くの高校生を支えるためのご支援をお願いします!



KIDSDOOR 認定NPO キッズドア

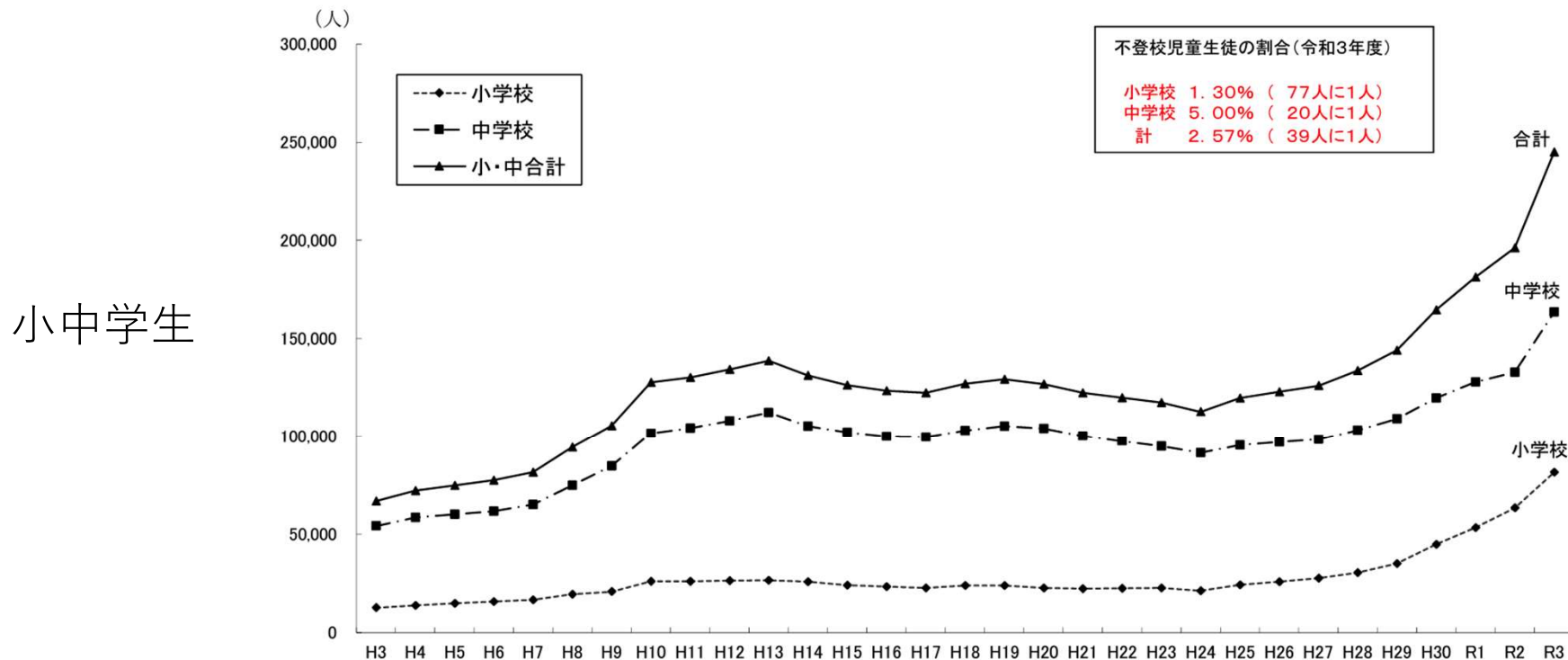
congrant.com
困窮する高校生の未来を作るためのご寄付にご協力ください | 認定特定非営利... 認定特定非営利活動法人キッズドア | 認定NPO法人キッズドアは、2011年から困窮家庭の高校生の支援を行って来ました。高校が義務教育ではないこともあり...

6. 不登校の子どもへの学びの支援を早急に、 十分に

有償のフリースクールや塾に通えない家庭、親が教えることができない不登校の子どもへの支援は、待ったなし。長期化すると、ひきこもりや低収入になるリスクが大

- 子どもが不登校なので学校で給食が食べられず、食費の負担が大きいです。勉強面でも家でするだけなので、学力が心配です。ひとり親で不登校児への金銭面や教育の援助が欲しいです。
- 学校に行きしぶりや不登校の子供に対する支援や対策をもっと考えてほしい。
- 不登校に対する支援を広げてほしい。学校のスクールカウンセラーの予約が2ヶ月待ちの状態です。
- 中学生の子供は、先生に怒られ、不登校になり3ヶ月目です。何のサポートもありません。教育もしっかり補償してほしいです。

<参考2> 不登校児童生徒数の推移のグラフ



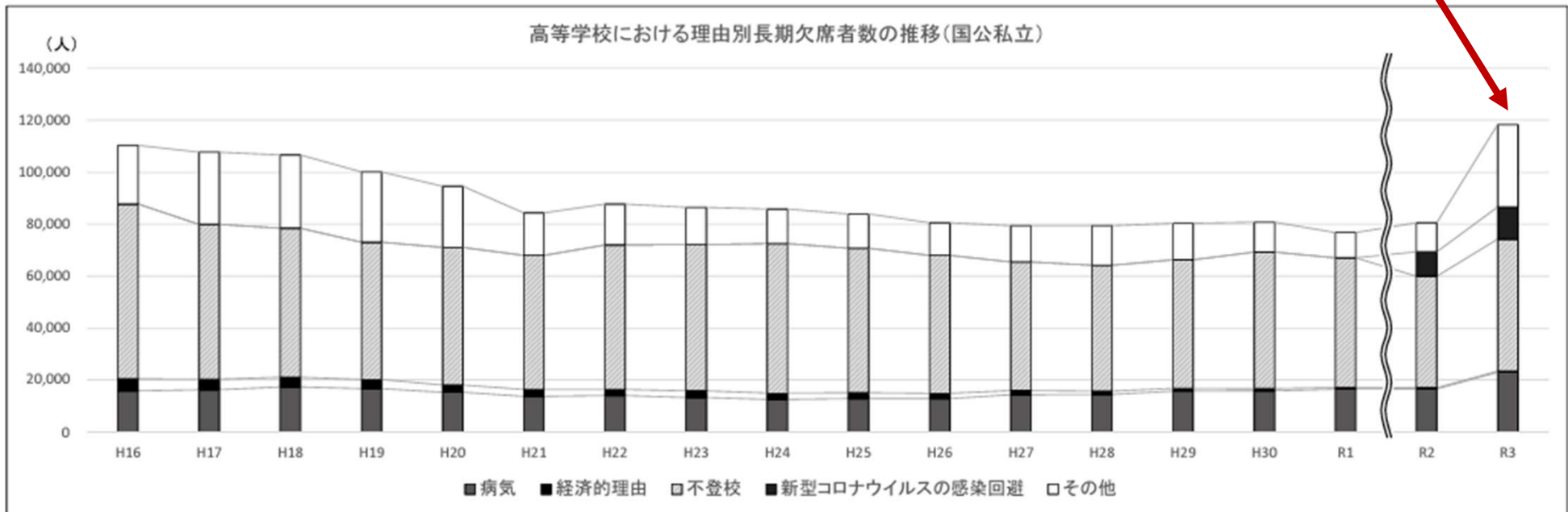
フードパントリーにくるシングルマザーから、高校生の不登校の話が多数。
「高校生の子どもが学校に行っていない。義務教育ではないのではないか」
「高校生の子どもが不登校になった。心配だけどどうしようもない」

■キッズドア高校生世代アンケート（速報）から

- 不登校になった ゲームの、オンラインで友達と繋がりはあったが、唯一頑張ってた部活動が、できなくなってやりがいが、わからなくなった。
- 不登校だったからキッズドアの学習会や体験会などは、とても楽しく人と触れ合う貴重な時間だった。

■高等学校における理由別長期欠席者数の推移（国公立）

急増
高校は義務教育ではないため
公的支援がほとんどない
中退リスクが高い



7. 困窮家庭から、大学・短大・専門学校に 進学した若者への支援を

- 困窮家庭の大学生・短大生・専門学校生・フリーターなどの支援制度はほとんどない。
- 家庭を頼れない貧困層・準貧困層が、まずは相談できる支援制度が必要。
認定NPO法人D×Pのユキサキチャットは登録数が激増。
食料品や現金を送るユキサキ支援パックも、2023年は倍増

困窮家庭の高校生からは、卒業後の不安が多数

Q.進学や就職などで困っていたり、不安なことがありますか。

- 4年間の学費が払えるかどうか
- 一人暮らしでお金がまだまだかかりそうなので、その費用をどこから捻出しようかと心配している。
- 一般家庭との差が大きいため、自分が援助に、該当するの該当するのかわからなかった。また、自分の貯金（アルバイト代）で、入学費等が払えるのか不安だった。
- 学費がこの先払っていけるか心配
- 給付奨学生になりましたが、アルバイト等で学業が優先できず、成績が維持できない不安があります。
- 車の免許の費用の余裕が無いので、働きながら免許を取るしかないことと、車購入のローンが親が保証人で通るかの不安。
- 親に負担をかけたくない。自分のバイト代で通えるのか不安。体力的にも厳しくなりそうなので不安ばかりですが、頑張ります。
- 前期は払っても後期の資金を調達できるか心配です。